

学会ニュース ②

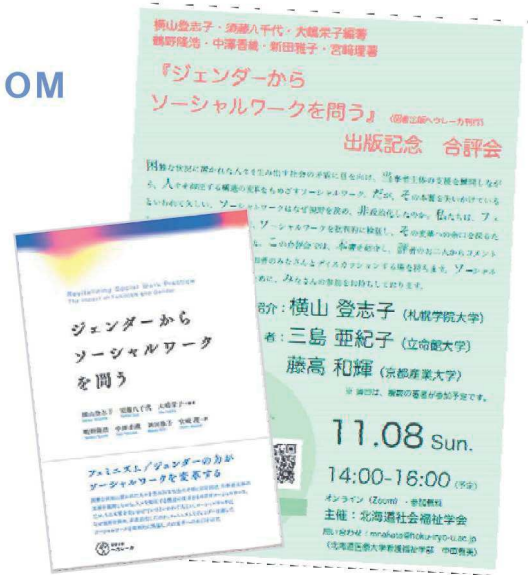
2020年12月発行



今年度も合評会を開催いたしました！！

去る2020年11月8日(日)、総会・大会同様、オンラインシステムZOOMを活用し、実施いたしました。

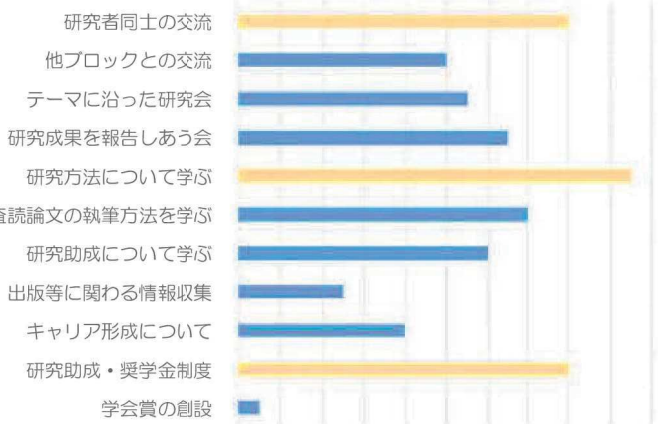
今年度の合評会は、2015年の北海道社会福祉学会主催の合評会ドミニ著・須藤八千代訳『フェミニストソーシャルワーク』(明石出版)を契機に研究会を立ち上げられ、今年6月に出版された『ジェンダーからソーシャルワークを問う』(ハウレーカ)を取り上げました。評者に三島亜紀子氏、藤高和輝氏を迎え、道外からの参加もあり、約40名が集まりました。当日は、編者のひとりである横山登志子氏が自著紹介をし、評者2名からのコメント、そして7名の執筆者からの応答とディスカッションという濃密な2時間となりました。



アンケートへのご協力誠にありがとうございました

※複数回答可

2020年10月31日現在



10月末日に「求められる若手研究者支援について」のアンケートを締め切らせていただきました。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。回答者は24名で、14名が任期なしの大学等教員、2名が任期付きの大学等教員、2名が福祉等の現場職員、6名が博士課程在学中の大学院生でした。修士課程修了後の研究歴は、5年未満が8名のうち、5名が大学院生、2名が福祉等の現場職員、1名が任期付きの教員でした。学会としてあればよいと考える若手研究者支援の内容は、左記の通りです。今後、ご意見いただいた内容を基にどのような支援が可能か検討いたします。

昨年度旭川で開催できなかったシンポジウムをオンラインで開催いたします

シンポジウム：不安定化する「家族」にむけて準備中！！

2020年12月13日(日) 14時から開催予定の学会シンポジウム「不安定化する「家族」—ソーシャルワーカーが抱く家族像の二面性と葛藤—」にむけ、シンポジスト・コメンテーターなどを中心にシンポジウムの打ち合わせを(9月、10月)おこない、準備にまい進しております。シンポジウム打ち合わせでは、家族をめぐって、ソーシャルワーカーや地域社会、当事者等々のさまざまな観点から熱い議論を展開しています。年の瀬にむかい、改めて“家族”や“ソーシャルワーカー”について考えてみませんか。みなさまのご参加お待ちしております。

詳細は本学会ホームページの[お知らせ]をご覧ください。



北海道社会福祉学会・日本社会福祉学会北海道ブロック 主催
2020年度 シンポジウム
不安定化する「家族」
—ソーシャルワーカーの抱く家族像の二面性と葛藤—
—藤—

シンポジスト 長瀬 雄雄 (希望学園)
シンポジスト 奥田 かつり (北海道医療大学)
シンポジスト 田中 教 (リサーチ・トリートメント 相談ネットワーク)
コメンテーター 藤原 圭佑 (北星学園大学短期大学部)
コーディネーター 松岡 兼伸 (北星学園大学)

日 時：2020年12月13日(日)14:00～
お 場：オンライン開催
参加費：無料
対 象：社会福祉学会員、福祉専門職、学生、その他関心のある方
申込方法：Googleフォームによる申込み(11月30日締切)
<https://forms.gle/ZiKL47pELcJ8uARk7>

お問い合わせ先：北海道社会福祉学会 普及活動課 奥田 かつり
〒003-0293 北海道札幌市東区南一条1757
北海道医療大学看護福祉学部 中田 兼伸
北海道医療大学看護福祉学部 中田 兼伸